

次世代ロジスティクス&サプライチェーン研究部会活動報告（支部研究部会）

主査：上野信行（県立広島大学），幹事：韓虎剛（県立広島大学），副幹事：重丸伸二（県立広島大学）

1. 実施報告

1. 1 第1回研究会

日時：平成20年11月14日（金）14:00～16:30

場所：県立広島大学広島キャンパス1212会議室

共催：日本経営システム学会中国四国支部

内容：

(1) 14:00～14:10

挨拶 上野 信行（研究部会主査，県立広島大学経営情報学部教授）

(2) 14:10～15:10

講演「個客対応マーケティングの実践と成果
～マス・カスタマイゼーション戦略のメカニズム～」
片野 浩一（明星大学・経済学部・准教授）

概要

個別個客の欲求やニーズに対応するワン・トゥ・ワン・マーケティングないし、マス・カスタマイゼーション戦略は、その思想や必要性について、これまで先進的な企業の取組みが紹介され、その事例研究が積み重ねられてきました。個客対応のマーケティングは、その有効性は誰しも支持するところですが、実践場面における課題や問題点について詳しく取り上げられることはありませんでした。そこで、アパレル企業のオーダーメイド事業における取組みをマス・カスタマイゼーション戦略のメカニズムとして考察し、成功する仕組みをつくるにはどのような課題があるのかについて、事例分析と統計分析を用いて紹介があった。

(3) 15:30～16:30

講演「紳士服販売なのに衛星放送？」
四茂野 聡（青山商事株式会社・ITシステム部）

概要

スーツ販売数で国内シェアトップであり、「スーツ販売着数世界一」でギネスブックに認定された洋服の青山です。その強さは、商品の品質や機能、デザインや価格、ブランド力、接客対応などトータルな「顧客満足」にあると考えます。2002年4月に、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社（MDIS）の衛星配信システムを導入。全国721店舗を対象としたBGMとCMの衛星配信、さらに映像視聴システム「ACOS-NET」の運用を開始しました。

全国に広がる営業店社員のスキルアップとお客様サービス向上のツールとして、衛星情報配信システムを積極的に活用し、営業店のIT化による運営強化を進めている最新事情について紹介があった。

出席者:28名

1. 2 第2回研究会

日時：平成21年2月20日 13:00～16:30

場所：県立広島大学広島キャンパス1212会議室

共催：日本経営システム学会中国四国支部

内容：

(1) 13:00～13:10

挨拶 上野 信行（中国・四国支部長、県立広島大学・経営情報学部・教授）

(2) 13:10～14:40

講演「中小・ベンチャー企業のサービスモデル革新と生産性向上、新産業創造に向けて」

講師 三本松 進（一橋大学商学部客員教授（17, 18, 19年度）、

（独）中小企業基盤整備機構シニアリサーチャー（大学連携等担当））

概要

2008年9月中小機構は三本松氏の執筆になる「中小・ベンチャー企業のサービスモデル革新と生産性向上、新産業創造に向けて」研究を公表。今回の研究報告で、サービス業の全業種に共通する「サービスモデル革新アプローチを」明らかにするとともに、先進的、網羅的な33の事例研究により、その妥当性を確認。本アプローチにより、中小・ベンチャー企業のサービスモデル革新・イノベーションによる生産性向上、新産業創造のプロセスを体系的に詳細に見える化し、サービス供給における統合的な優位性形成のあり方を明らかにしたので、多くのイノベーター、既存サービス企業の方々がこれを活用し、市場での経営上の成果を上げ、新しい企業成長の方向を見出すことが期待されているとの紹介があった。

(3) 15:00～16:30

講演「業態変更を目指して」

講師 小野 英輔（サマンサジャパン株式会社 代表取締役会長兼CEO）

概要

創業は掃除屋として始まりました。現在は5つの事業を柱として繁栄しております。二代目は職業を選ぶことができず、大借金の父の会社を手伝うことになりました。しかし、40年前の掃除屋に「誇」を持つことも、将来に夢を描くことすらできませんでした。経営の師を見つけ出せたおかげで、社長に就任したら、一緒に働く従業員に成功人生を歩ませることができるようになるのではないかと考えるようになったのです。社長就任後、即、実行したのが業態変更でした。それが、東京のニュービジネス協議会から『アントレプレナー大賞特別賞』を授与されたのでした。我社のみならず、業界を大きく変える大改革だったと思っ

ています。商品そのものを磨くと同時に、付加価値を多く付加し、売物の働きを高めることでした。生産性を高め、高付加価値を付け、価格が通せる企業になる。今、その途中でありますが、実績を上げつつあるとの紹介があった。


出席者：約60名


2. 会計報告

	決算	備考
(収入の部)		
支部交付金	30,000	
収入合計①	30000	
(支出の部)		
講演謝金 (11月14日)	15,000	@10,000×1, @5,000×1
講演謝金 (2月20日)	15,000	@10,000×1, @5,000×1
支出合計②	30000	
残高 (①-②)	0	

以上

実施報告、会計報告、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名 西崎 一郎 

署名 素原 兵二郎 

四国ブロックシンポジウム（および併設講演会）【平成20年度支部事業】 活動報告

1. 実施報告

- ・日時：平成20年9月16日（火）13時30分～16時50分
- ・会場：香川大学幸町キャンパス南ブロック 又信（ゆうしん）記念館2階第3会議室
- ・組織：実行委員長 大橋 守（徳島大学） 実行委員 中央栄徳（香川大学）
- ・プログラム：

【特別講演（13時30分～14時30分）】

講師：柳浦陸憲 氏（名古屋大学大学院情報科学研究科）

題目：パッキング問題に対する最適化アルゴリズム

【一般講演（25分）：発表20分＋質疑応答5分】

(1) 14時50分～15時15分

曾 道智 氏（東北大学）：空間経済学のあらすじ

(2) 15時15分～15時40分

宇野剛史 氏（徳島大学総合科学部）：非線形計画問題に対する改良型差分進化に基づく発見的解法

休憩（20分）

(3) 16時00分～16時25分

松崎友美 氏（大阪大学大学院 情報科学研究科）：多重従属な競合リスクモデルでの識別可能性

(4) 16時25分～16時50分

大橋 守 氏（徳島大学総合科学部）：確率微分方程式の解について

2. 会計報告

摘要	単価	数量	金額	備考	税金
会場費	0	1	0		0
会場準備費(お茶・お菓子代)	1,500	1	1,500		0
特別講師謝金	11,111	2	22,222	領収書有り	2222
特別講師交通費・宿泊費	11,111	2	22,222		2222
懇親会補助	6278	1	6,278		
合計			52,222		4444
入金 摘要	単価	数量	金額	備考	
支部事業費:併設講演会費	52,222	1	52,222		
合計			52,222		

実施報告、会計報告、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名

西崎 一郎



署名

栗原 兵二郎

